

あさひ

2024年7月号

那覇市議会議員・写真家 普久原あさひ活動報告



本号の記事：

- ・性の多様性について
- ・学校給食費の無償化
- ・生活保護行政
- ・交通行政（ゆいレール駅）



もうすでに夏本番の暑さ！ 那覇市議会のアツい議論は！？



はいさい！那覇市議会議員で写真家の普久原あさひです。

梅雨も明け、夏の訪れを感じる季節となりました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか？連日の暑さが続く中、熱中症対策をしっかりと行い、健康にお過ごしください。

さて、今回の議会報告では、那覇市の学校給食費の無償化、生活保護行政、交通行政、性の多様性推進など、皆様の生活に直結する重要な議題についてご報告いたします。市民の皆様の安全・安心な生活のために取り組んでまいりました内容を、ぜひ一読いただければ幸いです。これからも皆様のご意見を伺いながら、より良い那覇市を目指して努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



朝日のつぶやき：最近、献血を始めました。自分の健康状態も知れるので、おすすめです！

普久原あさひ

所属・役割など

- 教育福祉委員会 ●広報会議
- 沖縄立憲民主党広報委員長



経歴

- ・1994年那覇市生まれ(29歳)
- ・真嘉比小、安謝小、大道小を経て
- ・真和志中、浦添高校・日本大学国際関係学部卒業
- ・「辺野古」県民投票の活動に参加
- ・2019年6月香港200万人デモ撮影
- ・沖縄アジア国際平和芸術祭2020実行委員事務局・出展
- ・2021年那覇市議会議員選挙で26歳最年少で初当選

市民相談・お問い合わせはこちら

〒902-0067
沖縄県那覇市安里381
1-D (栄町市場内)

これまでの活動は名前で検索！

普久原あさひ



☎080-3982-4178

✉asahi.f.info@gmail.com

SNS・最新情報はこちらから！👉



2027年度に性の多様性を尊重する条例の制定へ！

6月のプライド月間は、那覇市でもなは女性センターだより6月号での情報発信に加え、市役所ロビーおよび市民共同プラザ1階には常時レインボーフラッグを掲げています。これは性の多様性を尊重する都市としての那覇市の姿勢を示すものです。

現在、那覇市では62組がパートナーシップ登録をしており、そのうち3組がファミリーシップ登録をしています。今回の議会では、他の市町村に転出する際にパートナーシップ・ファミリーシップの登録を返還せずに維持できるよう提案し、総務部長は、課題整理と調査研究を進めると答えました。

那覇市は既にレインボー宣言を行っていますが、さらに性の多様性を尊重する条例の制定が求められています。総務部長によると、今年度開催予定の男女共同参画会議で協議を開始し、2027年度に条例を制定する計画。これは那覇市が一層性の多様性を尊重する社会を目指すための重要なステップとなります。

ケースワーカーの労働環境改善を求める！

令和6年度的那覇市のケースワーカー数は、正職員82人、会計年度任用職員30人で、1人当たりの担当世帯数は正職員が平均105世帯、会計年度任用職員が平均96世帯です。国が定める基準では80世帯につき1人と定めており職員数が足りない現状です。他自治体では担当世帯の上限を設けている例もありますが、那覇市では上限を設けていません。

残業代は予算の範囲内で管理され、会計年度任用職員の場合、月1万5,000円、時間換算では10時間程度であり現状では足りません。給与が月額制のため、時給換算で低くなる現状や、新規採用職員が3年間保護課に配属されることによる負担増についても問題視されています。

これらの問題に対し、ベテラン職員の配置や体制強化など、職員の負担軽減策を求めました。今後も労働環境の改善に向けた取り組みを進めてまいります。

ゆいレール安里駅の安全を

令和5年度のゆいレールの年間累計乗客数は1,994万8,279人で、1日平均乗客数は5万4,803人となり、コロナ禍前の令和元年度と比較して98%まで回復。

安里駅リウボウ側の階段の最後の段がコンクリート状になっており、夜間に見えづらく転びやすい問題について、指摘したところ、今後沖縄県で対応を検討する予定との答弁がありました。



学校給食費の無償化に向けた取り組みを！

那覇市は、学校給食費を無償化することのデメリットとして「給食に対して感謝が薄れる可能性がある」と答弁しました。一般質問で真意を問うたところ「全国PTA連合会協議会の学校給食無償化の懸念事を参考に可能性を述べた。」と答えました。

感謝の気持ちは金銭の有無に関わらず、生産者や調理者、食べ物や命そのものに対するものです。そもそも栄養のある食事を摂ることは子どもの権利であり、権利を守るのが大人や行政の仕事であるとの考えを述べ、重ねて市長に答弁を求めましたが答えず、担当部長が同じ答弁を繰り返しました。

さらに、市長も無償化を公約にしていることから、県の予算に限らずとも無償化すると宣言できないか問うと、市長は「市単独では無理、県がやるなら可能性はある」と答えました。市長のリーダーシップと本気度が感じられない答弁にがっかりしましたが、子どもたちのためにも県と一緒に取り組んで、給食費の無償化を実現するよう要望しました。

他にも様々取り組んでいます！ 詳しくは、下のQRコードから！

一般質問

- 環境行政（粗大ゴミの収集、メルカリの活用）
- 交通行政（ゆいレールの利用・運休、自転車活用推進計画、道路デザイン）
- 性の多様性（プライド月間の取り組み、パートナーシップ・ファミリーシップ、学校での取組）
- 生活保護行政（ケースワーカーの労働環境改善）
- 学校給食費の無償化について

市民相談・お問い合わせはこちら
インターンも募集中です！

☎ 902-0067
📍 沖縄県那覇市安里381 1-D (栄町市場内)
☎ 080-3982-4178 ✉ asahi.f.info@gmail.com



←ここから
議会質問見れます！

🔍 那覇市議会インターネット中継